

教育学部

特別支援教育プログラム

取得できる学位 ★学士（教育学）

■ プログラムの概要

本プログラムは、「特別支援教育の基礎理論に関する科目」「特別支援教育領域（心理・生理および病理、教育課程および指導法）に関する科目」「特別支援教育領域以外の領域（重複障がい、軽度発達障がいなど）に関する科目」から構成されている。特に新潟大学では、附属特別支援学校の授業補助や、すなやまクラブの放課後支援、キャンパスの相談室での発達障がいを持つ子どものグループ指導、親の会との連携等を通して、障がいのある子どもへの対応を実際に学べるという特色がある。

本プログラムの修了者には、教育職員免許法で定める特別支援学校教諭一種免許状を取得できる資格が与えられる。ただし、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園教諭の普通免許状を有していることを前提とする。

■ 人材育成目標

本プログラムの修了者には、新潟市をはじめとする新潟県内や隣接自治体において、特別支援学校教員として豊かな知識と実践的指導技能を活かし、心身に障がいのある幼児、児童又は生徒の個別の教育ニーズに応じた教育実践の推進に尽力することを目標とする。さらに、小中学校の普通学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒にも対応すべく、小中学校、高等学校または幼稚園教員に必要な特別支援教育の知識と技能を与えることを目標とする。もちろん本プログラムの修了者は新潟県発達障がい者サポートセンターの特別支援指導員、新潟市教育相談センター、新潟市特別支援教育サポートセンターの指導員、障がい者施設の指導員、公務員なども目標とされる。

■ プログラムの到達目標（期待される学修成果）

| 1 | 知識・理解

- 特別支援教育の教育理念と歴史について説明できる。
- 特別支援教育に関する福祉制度について説明できる。
- 心身に障害のある子どもの発達と心理を学び理解する。
- 心身に障害のある子どもの生理及び病理を学び理解する。
- 特別支援教育課程及び指導法に関する知識を習得する。

| 2 | 当該分野固有の能力

- 特別支援教育における学級経営案の作成ができる。
- 特別支援教育における教育理念の構成ができる。
- 特別支援教育における教育制度に関するレポート作成ができる。
- 基本的知識を活かした授業、教育相談、ボランティア活動ができる。
- 基本的知識を活かした個別指導計画などの作成と実践ができる。

| 3 | 汎用的能力

- a) 対人関係の構築ができる。
- b) 教育課題の選定と対処する力を発揮できる。
- c) 論理的思考ができる。
- d) 創造性と発想力を発揮できる。
- e) 適切なプレゼンテーションができる。

| 4 | 態度・姿勢

- a) 教育に対する情熱・教育理念実現のための努力がみられる。
- b) 子どものニーズを最優先し、行動する心構えがある。
- c) 謙虚な姿勢がみられる。
- d) 自らの教育実践の客観的評価ができています。
- e) 様々なニーズに対応できる柔軟な姿勢がみられる。

■■ プログラムの履修要件

- ・高校卒業程度の基礎学力および基礎的実技能力を確実に有している。
- ・社会で受け入れられる基本的な対人関係・コミュニケーション能力を有している。
- ・特別支援教育への強い熱意と関心を持っている。
- ・特別支援教育に関する教員になることを目指している。

■■ カリキュラム立案と学修方法についての基本方針

育成する人材とその到達目標を多角的・総合的に検討し、課程共通・教職専門・教科専門からなる「教職基礎科目」5群と、「特別支援教育専修科目」5群の計10群で構成されている。特別支援教育専修科目の講義・演習の中で、障がいのある子どもの臨床を通して、実際に関わり方を学ぶ取り組みがなされている。すなわち、附属特別支援学校の授業補助やすなやまクラブの放課後支援、大学相談室での臨床、また親の会との連携を通して、障がいのある子どもと様々な局面で関わり、対応を学ぶ機会が得られるところが本学の特色である。